（明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可）（日刊）日曜及祭日の翌日休刊 明治四十二年十月十五日（金曜日） 第二百卅九號 （一）

京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

寄書

●金剛山行（一）

鈴木生

一度は朝鮮に行つて金剛山を見たいものだとは唐人の寢語で多少たまけもあろうから之を以て直ちに其價値を定めると云ふ事は出來ないけれど金剛山と云へば兎に角韓國東海の名山折もあらば唐人の寢語を現實にして見たいとは我年來の希望であつた然し我周圍の事情明ら樣に云へば暇と金とそれに暴徒の關係とが我をして今まで希望を滿足せしめなかつたので幾多の月日を嘆息の中に過させたのも實に此三者である時なる哉今茲明治四十二年の夏二週間ばかりの休暇を得らるゝことになつたので暴徒の噂の少ないのを幸ひに少しばかりの旅費を工面して我年來の希望を滿足せしむる事になつた此時の我胸中の喜びは實に名狀する事が出來なかつたのである。

七月三十一日の早朝黑色の破れ服に麥藁帽子足は脚袢で固め草鞋を穿き蝙蝠傘を杖にして西小門外の宿所を出た荷持ちかたがた案內者として出中と云ふ二十歳ばかりの韓人の男を連れて出た城壁に沿ふて新門をくぐり電車道について行く雲橋を過ぎ鐘路に來た頃漸く日は照り出したパコタ公園の蜷石塔を横に見て太廟の次の筋を東に大韓醫院の前に連なる昌德宮の石壘の堀に沿ふて四五町行くと東小門に出る此所までは人家が連なつて居るけれど一歩を門外へ踏み出すと一面廣々とした草原で一つの赤い木馬が昔の錬兵場の跡を忍ばせるのみである道路は至極平坦で左の方には北漢山の巖頭が何時迄もついて來るやうに見ゆる半里位行く毎に一團の人家はある小山もあれば小川もある田もある畑もあるが唯樹木が少ないのみである見渡す限りは唯青々として居るばかりで中に白衣の點綴せるは通行人にあらずんば草取る百姓である三里ばかりの所で鐵原から歸へるのだと云ふ五六名の日本の兵士に出遇つたそれから後は村では一二の巡査は見るけれども一人の賣藥行商人を除いては日本人の通行者に遇ふ事は出來なかつたのである五里ばかり來た所で眞瓜を食つて暫らく休んで居ると郵便物を馬につけて遞送人が通る馬に乘つた憲兵が二人ついて行く之が元山街道の郵便護衞である風を少し入れてから立つて議政府に着いた時分は餘りの暑さに郵便所前の家では今來た護衞の憲兵が裸体で大の字なりに晝寐して居るのを見受けたのであつた

久し振りの朝鮮飯に腹を肥して暫らく酒幕の店頭に休んで居ると郵便護衞が京城へ向ふ元山方面へも向ふ楊州の方へも向つたさて我等は村端れの石碑に教わられて右元山道と云ふ方を行く景色に變化はないけれど道行く人の數は極めて稀である野道を飛び交ふ蝶や蜻蛉を追ひながら行く程に日も漸く傾いて凉風がソヨソヨと吹いて來た村端れの柳が下には天下大將軍や地下女將軍の梟首が十二三も大きな目玉をむいたまゝ立つて居るその傍には何を祈るのか悲しげな聲を立てゝ白衣の婦人が薄くらがりにうごめいて居るのであつた其內に日は暮れたまだ抱川へは二里もあるけれども足は疲れて最早や其所まで行く勇氣はないのである

●雲山金鑛の現況

（黑岩技監の視察談）

曩に鑛山視察の爲め各地へ出張したる農商工部技監黑岩休太郎氏は數日前歸任したるが巡視の場所は新安州及び寧邊を經て雲山に到り昌城、楚州、新義州、宣川、龜城及順安の各地にして其談話に曰く朔州には元般山金鑛の技師たりし英國人ホウユー氏あり金鑛の試堀中にて宣川には獨逸人の經營に係る金鑛あり五臺の搗鑛機を据付けんとて目下計畫中なり順安に於ては淺野總一郎氏が經營せる砂金鑛あり毎月六七貫目を採取し居りて中々有望なるが彼の有名なる

▲雲山金鑛 は大岩及橋洞を本部として作業を爲しつゝあり大岩は既に九百餘尺橋洞は八百餘尺を堀下げ七十度の勾配なる横坑にして其外鷹峰、克城洞及泥踏岾等も盛んに採堀し居りて一ケ月の產額凡そ二十一万圓あるなり而して

▲搗鑛機 は一臺千五十封度のものを大岩に於て八十本、橋洞に八十本、鷹峰に二十本克城洞に四十本合計二百二十本を使用し居れるが一臺の鑛石粉碎量は一日四噸なるを以て合計八百八十屯を一日に粉碎し居れる譯なり斯くの如く作業の宏大なるは日本に於ても稀に見るところにして其の產出を日本の諸鑛山に比較すれば第五位にあり

▲金の含有量 は鑛石一噸の內五弗即ち十圓にて

▲就業者 は全部に於て約六千人なるが其內韓人四千七百五十八、日人二百五十八、淸人八百五人其の他の外國人六十人ありて怪しき婦人さへ入込み頗る盛んなり云々

●孔子降誕記念祭執行

十日午後一時より成均舘內丕闡堂に於て孔子降誕二千四百六十年祭を擧行し參列者は閔宮內府大臣、尹侍從院卿、金中樞院議長、李容植氏以下百二十五名にして一同孔子像に對し禮拜を爲し次で二三の孔子頌德演說ありて後孔子敎萬歲を三唱して退散せりと

●北韓滊船命令變更說

北韓滊船會社にては韓國政府の補助を受け隆熙號の一隻を以て目下元山を起點として南方釜山より北方雄基灣迄の航海に從事しつゝあるも隆熙號の速力僅かに四哩餘の遲力に過ぎざれば冬期の如きは大に北風に悩まされ旅客の不便を感ずる廉あるより同社にては更に一隻江原丸を借入れ多少の損失を顧みず運航しつゝありと尙は同社長吉田秀次郎氏は一昨夜入京したるが該航路補助金變更の申出でを爲す筈なりと傳ふ



第八席

伯山改 神田松鯉口演

重季も狼の誠心に感じて涙をハラ〳〵と流し、暫らくして爲朝に向ひ「某、昨夜夢見の惡しかりつるも此事にて候ひしならん、ソモ狼すら恩義に感じ、身死して主人の寇を殺すとは誠に感心の至り我れ獸にも及ばずして年來傳き參らせながら御は君恩に報ゆるに至らず、山雄に對しても恥かしき事でござる」と深く感慨に堪へぬもの」如くであります、此時夜もシラ〳〵と明離れ四方の連山も見ゆるやうになりましたが、一天俄に掻き曇つて見る〳〵うちに雲起り今まで星の輝いて居りました空は、墨を流せし如く眞黑になり、風颯々として吹來る程こそあれ、時しも三月の始めでありながら、電光凄じく閃らめき、大粒の雨降り來り、雷鳴はれぞろ〳〵しく今にも落ちもかゝるべき光景、爲朝は暫らく雲間を打眺めて居られましたが「爲朝へ聞く大蛇數百年を經る時は、身の中必ず珠あるとか云へり、然るに龍之れを知りて、其珠を取らん爲めに、先づ雷公を遣りて震するとか云へり、思ふに此の蟒蛇には珠があるならん、重季、試みに裂いて見よ」との仰せ、重「畏まつて候」と、重季は彼の蟒蛇の咽喉の邊に刀を突立て之れを裂かんとした、時雨は益盛んになり、益を覆すが如しと云はんか、車軸を流す如しと言はんか、身の毛も悚立つかと思はれるほどの大雨、雷の鳴ること益劇しく、爲朝は弓に矢を番へて天を睨み、若し雷獸の落つる事もあらば射て取らんとて、四五間後に退いて身構へに及んだ、重季は雨に濡れつゝも、尾のあたりまで裂いて見たれど別段是れと思ふ物もない、若しや頭の方にやあらんかと、刀を取直して頭の皮を剝ぎ顱の下を探して見た所、果せる哉、玉のやうなものがあつた 重「ヤレ嬉しやと、引出さんとした折しも、四方晦朦として一朶の黑雲須藤の頭の上へ掩ひ累なり、一聲の霹靂、天地も動かん許りに、グワラ〳〵〳〵と雷が落ちた、爲朝は「得たり」と、引つて兵と放つ矢、確かに手ごたへ致した樣子でございましたが、忽ちの內に雨は止んで黑雲は收まり、旭日晃々と東の山の端に登りました、爲朝は走り寄つて見ますれば、哀むべし重季は腦骨碎け肉は破れ、身体眞黑になつて相果てゝ居ります、然し流石に刀は放さず左りの手は血だらけにして一つの珠を握つて居ります、爲朝は大に驚き「アヽ又たしても過まてるか、我れ血氣の勇に誇りて、あたら家來を殺しつること殘念なれ、譬へ、黃金の珠なりとも、此の愛臣とは代りがたし、特に彼れは我が乳母の子にて、永年我に從ひ此邊土までも伴して來りつるもの、斯かる大事の家來をば殺せし事、何たる事であらう、今朝屋敷を出る時、夢見の惡しゝと云ひたるは是れが爲めか、日頃は左しも勇者とも思はざりしが、其身雷に打たるゝも能く其珠を全ふす、遖れの勇者よ」と涙にうるむ眼を開き、やがて重季の握れる珠を取上げ見れば、誠に晃々たること明月の如く、まだ見たこともなき立派な品でございます、折しも向ふ峽より身体雨に濡れて此方を差して來る者がある、誰れならんと見てあれば、是れぞ別人ならず八町礫の紀平治であります、彼れも爲朝の御姿を見て忙かはしく御傍へ參り「是れは若君には何うなされましたか、此の死骸は如何なる次第でございまするか」と驚愕の體、爲朝は愁然として一伍一什の物語を遊ばした、紀平治は益驚いて重季の死を歎き、又山雄の死を憐れみ、二つの穴を掘つて埋めてやりました、是れより今日はもう狩りは中止致さうと紀平治と共に山を下つて參る、途中に遙か向ふの岩の上に如何にも美事な松が生ねて居ります、爲朝は紀平治に向はれ「アレ見よ、彼の松はいつも目に入るのだが、何とも言へぬ立派なものだな 紀「左樣でございます、美事な松でございます」と話して居ると、一羽の鶴が何れより參つたものか、其松の上を彼方此方へと翔つて居ります。



第239호　1909. 10. 15.

京城新報

菊花の季節

秋深くして菊花の最盛季節となりぬ、春の櫻花は婉麗にして輕快也、秋の菊花は優美にして敦厚也、櫻花は才人の如く菊花は君子の如し、櫻と菊とは何れも日本を代表する花ぞかし、然れども兩花が日本を代表するに於ては大に趣を異にするが如し、櫻花は觀光客の眼を喜ばしむるも多くは一時の盛興を惹くのみ、菊花は櫻花の如く一時の盛興を惹かざるも、其淸くして淑靜たる美姿は餘韻を存して永く記憶せらる、日本人の多くは自ら日本を以て櫻花國とするも歐米人は日本を以て菊の國と呼びて、菊花を以て日本の徽章となす、菊花は列國に向て能く日本を代表しつゝあり。

菊花は、畏くも我　帝室の御紋章、國威の發揚と共に世界に繁殖するに至る、菊花の盛に栽培せらるゝ所は帝國の勢力の認めらるゝ所也、見よ日露戰役後如何に日本の菊花が世界に歡迎せられつゝあるかを、英佛米獨に於ける日本菊の栽培は眞に盛なるもの也、就中佛國に於ける日本菊の全盛は驚くべきものなりと云ふ、巴里に於て昨年の十一月盛大なる菊花の百年祭を施行したる以來、殊に菊花は列國人の注意を一層喚起するに至りぬ、歐米に於ける菊花は今や盆栽時代を經過して花園に於ける王となりぬ斯く菊花の栽培普及を見るは聊か日本の誇たるを感ず、御稜威の普く及ぼせるが如く感ぜられて最とも愉快を覺へずんばあらず

菊花は素と是れ日本固有の花に非ずして支那より傳はりしものと聞く、菊花はもと之れ印度の花にして三國傳來のものなりと云ふ、然れども支那の文物を輸入し能く之を適用消化して、能く日本のものとなし却て優るの文明を發揮したるが如く、菊花も亦た然り、今日最も發達したる菊花を有するものは日本也、日本は菊花の本家本元となりぬ、支那人は菊花を傳公延年と名づけて長命息災の靈花と稱ふるも、其栽培は支那百般の文物の如く頗る退歩しぬ、之を以て見るも國民の進取的氣象は能く草木花實に迄及ぼすもの也。

翻て韓國に於ける菊花は如何と見るに在留邦人が栽培せるものゝ外、韓人には菊花を栽培するものなし、野菊と稱するものは到る處に亂咲し居るも、眞の菊花は甚だ稀なり、在留邦人の漸次增加すると共に菊花も亦祖國より移されて盛に栽培せらるゝに至るべし、菊花の盛に栽培せらるゝに至らばそこに帝國の光榮は發揮せらるゝ也、菊と櫻とは日本人の足跡に伴ふもの、此兩花が世界に盛に栽培せらるゝ其ときは、帝國の勢望も盛なるに至るべし、之を以て韓國にも盛に菊花の栽培を見むことを望むや切也

●梅ヶ香丸の就航延期　去る九日より關釜連絡航路に從事する豫定
比し三時間を短縮し得る豫定なるが同船開航の後ゝ現在の連絡時刻は改定せざる豫定

東京電報

▲海軍演習の擧行　竹敷要港附屬の各艦隊並に各部隊第一、第二の兩艦隊聯合して來月上旬佐世保近海に演習擧行の筈なり（十三日夜着電）

▲觀兵式と指揮官　天長節觀兵式諸兵指揮官は川村衛戍總督同參謀長は參謀本部宇都宮第二部長に決定す

▲大藏省の行政整理　大藏省主税局にては行政整理を機とし全國の税務監督局及び税務署の廢合を行ひ其結果監督局長税務官の罷免數百名に達すべく右は來月上旬　關税整理並に管轄區域の發表と同時に發表さるべし（同上）

▲關門海峽費存置　内務省明年度豫算關門海峽整理基金二百萬圓は大藏省に削除されんとせしが内務と交渉の末七十万圓に減じ存置するに決定したり（同上）

▲兵學校の卒業式　十五日擧行の江田島海軍兵學校卒業式には東伏見宮依仁親王殿下御差遣の筈なり（同上）

▲伊藤公爵の出發　伊藤公は本日午後三時四十分新橋發下關急行にて大磯より乘車出發滿洲視察の途に就きたるが見送り頗る盛んなりき（十四日發）

▲伊藤公の寄韓說　伊藤公は今回滿洲視察の途次韓國に立寄り京城に三日間滯在すべしとの說あり（同上）

▲水道買收の決議　今回のコレラに際し水道が一會社の手に握らるゝの弊は最も痛切に我官民の頭腦に感じたるが將來の爲水道を買收するは最必要事なるを以て或向にては其買收を當局者に請願すべく決議したりと傳ふる者あり

▲武官の歐洲派遣　曩に歐洲の軍政及軍事教育視察の爲派遣を命ぜられたる武田、宮田の兩大佐三原、磯村、渡邊の三中佐及菱狩少佐の一行は二十七日出發すべく其一行は部署を別ち陸軍大臣參謀總長教育總監の訓示に基き專門事項に就き視察研究を遂明年十一月歸朝の筈

▲法官任用發表期　韓國に於ける司法權委任實施に伴ふ司法官の任命は十一月一日發表の筈內重なる司法官は現に韓國に在る法曹を以て任命さるべし

▲進歩黨融和成立　進歩黨改革派非改革派の兩派は交渉成立し愈融和せり

▲警戒監視艦增派　露領沿海州の邦人漁業者增加の爲め當業者は保護監視艦の增派を請願し來りたるを以て其筋にても必要を認め更に一隻を急派すべし

▲產業組合の大會　昨日午後六時より赤坂溜池三會堂にて產業組合中央會大日本農會の下に戊申詔書煥發式一週紀念を擧行平田、小松原、大浦の三相臨席演說あり後井上博士の講演ありたり（同上）

▲西澤島問題結果　西澤島問題は始め我に於て該島の淸領たるを承認する代りに西澤氏の事業に對し淸國政府は相當保證を與ふる事となり最後に淸國政府は該事業を買收せんと提議し來り結局兩委員實地立會の上遂に十三萬圓淸國より仕拂ふ事となれるものなり（同上）

北京電報

▲韓銀株金の拂込　東京に於ける第一回韓銀株金拂込は今日遲滯なく終了

▲淸廷の海軍計劃　載振貝子は大砲製造計畫研究の爲め學生をクルップ會社に增派せん事を建議し政府之を容れ獨逸政府と協議中なり（同上）

浦鹽電報

▲浦鹽の自由港說　露藏相視察の結果浦鹽市民の希望を容れ自由港となすに至るべしとの說あり（十四日）

紐育電報

▲米使辭職の發表　不謹愼なる言動の爲め赴任の途中より召還されたる駐淸米公使クレイン氏の辭職は、愈華盛頓國務卿より發表されたり（十四日着）

▲實業團の紐育着　渡米實業團一行は十二日愈紐育に着し盛んなる歡迎を受けたるが一行の元氣は益旺盛なり

雜報

●統監と官紀振肅　伊藤統監時代より日本人官吏中不正行爲ありて官紀弛廢し識者の顰蹙する處なりしが曾禰統監は近頃官紀の振肅を以て最急務なりとし過般來種々の調査中の處是れか第一着として一昨日京城各官衙に於て判任官は依願免官、奏任官以上は始末書を徵したる者ありし由なるが尙は順次各地方に及び夫れより韓人側に至る筈なりと云へり

●會社法制定準備　韓國人は兎角會社の設立を以て或る特權を享有せるものゝ如く思惟し近頃到る處各種會社の濫設を見るに到り然かも是等は孰れも無許可の下にありて取締に頗る不都合を覺知せり且つ彼等は漫りに第三者に向つて特權を振翳し私權を侵害するの傾向あるのみならず一朝經濟上の恐慌に遭遇せば恐るべき惡影響を一般に波及す可し之を以て農商工部にては夙とに會社法制定の必要を感じ目下法典調査局に於て起草中なりと云ふ

●違式法律の糊塗　吾社が去る十一日發布の法律第二十號海上衝突豫防法に就き其違式を指摘したる事件に關しては統監府當局者に於ても頗る苦惱しつゝありしが遂に本日の官報を以て內閣總理大臣李完用の次に度支部大臣任善準の一行を其式に農商工部大臣趙重應の一行を脫落せる旨正誤したり此事に就き某部要路の大官は記者に語つて曰く元來右違式は單に活字の誤植又は原稿の誤寫等に依るに非ずして全く度支部當局者が功を急ぎ名を衒はん爲め惹起したる有意的失策なり乞ふ見よ韓國現時の海運狀態は斯かる法規の制定を要求する程進歩しつゝありや否や何人も看取するに難からざる可し然るに敢て斯かる徒法を發布し曖昧なる韓民を苦むるが如きは迂も亦酷だしく遂には我が統監政治の繁文縟禮に醉倒せしむるや明かなり況んや此法規より尙は必要なる可き船舶法すら有せざる今日に於てをや特に又法律の發布は最も形式を尊重し法令頒布式は明かに其手續を定め苟くも是に違背せる時は法律として法律の功力を有せざるなり斯かる大失態は是を古今東西に徵するも其例なく亞非利加の蠻地に於ても之を見ざるに唯だ獨り世界の一等國として八道に統臨せる我が統監政治に於て始めて現出せり今此大失態を善後するに一片の正誤文を官報に登載して糊塗せんとす是れ更に失態に失態を重ぬるものなり而して遂に責任の所在を堙滅せんとするは將來に尠からぬ惡例を貽し實に痛嘆に堪へざる次第なりと云々（電通）

●司法官の任命終了す　近日實施すべき司法權に就き新任判檢事約百名を要するとの事は既報の如くなるが其任命は先日以來屢次官報を以て發表したるが昨十四日も亦法學士又は書記より任命せられたるもの十一名あり是れにて委任法權の實施に要する判檢事全部任命を了せりと

●各道地方費使途項目　目下各道より內部に提出中の地方費豫算使途項目は大半以上土木にして其他は勸業の補助、教育の獎勵、衞生の設備等にて廳舍の新築等は到底少額の地方費を以て支辨する能はざるに依り國庫の支給となるべしと

●行政刷新と邦人官吏　日本人郡主事配置後に於ける地方行政は頗る良好なるに依り來年度に於ては各郡に日本人郡主事一名以上を配置する筈なりと

●兩黨の政見協定　大韓一進兩黨提携に就き協定政見を發表する事となり大韓協會にては左記十名を協定委員に擧げたり　鄭雲復、張孝根、金允五、韓基準、金相範、沈宜性、吳世昌、尹孝定、權東鎭、呂炳鉉

●司法費と監獄費　司法權實施に關する豫算は既報の如く約三百五十万圓に確定したる由なるが此內監獄に要する費用は七十万圓にして司法警察費は三十萬圓也と

●判事任命　十一日付左の如く任命あり
任判事叙奏任官四等　高橋修一、西村茂夫、三矢正革、山脇晃治、稻垣長七、平田司郎、神保信吉、高橋四郎、多田吉彌
任判事叙奏任官三等　藤木永吉

●製莚會社の好望　韓政府より三箇年間毎年一千圓の補助金下付を得て經營せる大邱製莚合資會社の近況を聞くに同會社は昨年十二月の創設に係り法學士小倉武之助氏萬事を主裁し居れるが幾多の苦辛と工夫とを積みたる効果現はれ近來頗る巧妙なる發達を遂げ將來頗る有望なる事業として囑目せらるゝに到れり今其事業の概要を摘記せんに製品は主もに疊表及花莚にして其品質の良好なる遙かに內地品の上に在りて例令は內地品の耐久力一年によれば該品は優に三箇年以上を保つを得べく日々其光澤の如きも高尙優美を極め雜巾を以て拂拭すれば益其品位を高む故に疊表としては寧ろ惜む可く更に花莚として宜の製作を爲す爲め注文續來し先頭熟練職工五十三名なりしが今回七十名に增加し大に前途の發展を期する由尙は該品の原料は產額甚だ微少なる爲め同社にては此際盛んに繁殖の方法を講じ更に地方郡等に依囑して獎勵を爲さしめ居れり故に若し製品と共に原料の產出相伴ふに到らば該製莚業は更に倍々產額を增進し韓國主要の物產として重きを爲すに到るや疑なしと某氏は語れり

●會議所總會の議決　去る十三日夜開會したる京城日本人商業會議所の臨時總會は京元、湖南兩線並設に就きては愼重の態度に依り極力運動を續くべき事今後成行如何により何時にても委員を上京せしめ出來得る限り初志貫徹に運動組織する事等を議定して散會したりと云ふ

●木浦民の鐵道建議書　木浦居留民の兩線併起に關し統監に差出すべき建議書は十二日郵送したりとの電報ありたるを以て着次第委員の手より提出の筈

●京龍仁委員會の開會　京龍仁委員會は二三日中に更に開會鐵道問題に關する其後の打合をなす筈なりと云ふ

●群山鐵道運動員入京　京元、湖南兩鐵道起工に對する群山の運動委員も今明日中に入京の筈なりと云へり

●濟州島民の不穩　十二日發光州農工銀行よりの報告に依れば近來濟州島民不穩の狀あり其原因左の如し

▲島民の疑惑　本島金融の逼迫は一に水產不漁の爲めなるも近來郡衙より廿歲以上六十歲以下の姓名を調査し九月五日迄に報告すべき旨訓令するや住民は近々日淸戰爭起り人夫として引出さるゝ準備の爲めなりとせり或は日本より面皮を剝く器械を輸入し大に驚愕し警察の民籍調査にも大障碍を來し我等の生命を奪はんとすなど僻陬の民の事とて恐にも付かざる風說に惑ひ爲めに自暴自棄して飲酒放縱至らざるなく甚しきは身を投じて自殺せるさへあり又諸種徵稅に付ては良民を毒するものなり等唱へ益自棄に陷るものあり素より之は島民の頑迷と排日派の煽動によるものなれど又地方官の不注意に因るものと云ふべし其證には公立普通學校の如き同盟罷工するに至れり父兄の注意足らざるに依るも日本人教盤も亦責を分たざる可らず畢竟之等は民情に暗きに因る殊に注意すべきは漁場の許可問題なり由來農產なく海產を唯一生活の基とする島民が日本人又は他地方韓人に之等を奪はるゝ如きあらんか死を以て爭ふや必せり

▲暴民の計畫　自暴自棄の徒結合して全島に檄し一擧城內を襲はんとせしも時日を逐へし爲め無事に終りたるが此氣勢は近來益盛んとなり之が爲貸出金回收は極て困難也

▲貸出金區別　本月は商業資金九口七千九百八十五圓貸出農業資金一口二百圓商業資金五口二千百八十圓を回收貸出には棄錢不足の爲補助貨を發布したるも回收可ならず

▲椎茸の發育　東瀛社の椎茸は目下盛んに發生し收穫二千斤の見込なり八九月間に雨量多く發育佳良なりし爲めにして百斤八十圓とせば二千斤にて千五六百圓の產額あり本年發生は卅九年に伐木せし撈木よりなり

●齋藤大佐の出發　統監府間島派出所長齋藤大佐は同所引揚に關する諸般の事務打合せを了し十四日午前九時南大門發列車にて歸任の途に就く停車場には榊原憲兵隊長石井少將佐竹秘書官等多數見送れり

●貧困病者の福音　大韓病院にては從來韓人貧困者に限り施療入院を許し居たるが今後は日本人にも經費及設備の許す限り施療入院を許す事となしたり但し施療希望者は民團長又は警察署長の證明を要すと

●仁川小學運動會　仁川民團立小學校秋季大運動會は來る二十三日開催の豫定なりしも同日は土曜日なるを以て一般の希望に添ひ翌廿四日の日曜日に延期したりと

●佛國領事の代辨　在京城佛國領事ベラン氏は今回賜暇歸國に付き副領事モーリスパイヤール氏領事代辨となるべしと

●京城文庫の開場　一時虎列拉病流行の爲め閉鎖中なりし同文庫は今十五日より一般の閲覽を許すことゝ爲したりと云ふ

●會議所の役員會　京仁、三南兩鐵道急設請願に關し昨日午後三時より仁川商業會議所は役員會を開き審議したりと云ふ

●理事廳工事竣成　仁川理事廳にては過般來改築中なるが來月三日の天長節までには悉皆の工事を竣成せしむる筈なりと云ふ

●鍬野椋十氏下仁　滯京中の大坂朝日新聞記者鍬野椋十氏は昨日午前下仁し市中を巡覽後同地記者團の招宴に臨みたる筈なり

●櫻井書記官出張　關稅局の櫻井書記官は平壤、新義州、鎭南浦及龍岩浦方面稅關設備視察の爲往復廿日間の豫定にて出張

●父兄懇話會開催　仁川民團立小學校父兄母姉懇話會を昨日午前九時より開催せり

●新井時事編輯長　一昨夜出發の筈なりしも都合にて昨十四日出發釜山を經て歸東

道の貨物其他重要なる事項は既に大畧の調査を了し目下請願書の起草中なりといふ

し一泊せしが今十五日歸任する筈なりと

●福羽氏官舍視察

●叙任辭令　左の通り辭令ありたり
臨時統監府派出所通譯生　山崎誠一郎

●宇佐川東拓總裁　昨十四日立花調査役を隨へ水原勸業模範場の視察を爲したりと

●本田博士の歸任　水原模範場長の同博士は豫て上京中の處昨十四日歸任したりと

●伊東祐侃氏歸京　前京城日報社長の同氏は歸朝中の處一昨十三日夜歸京したり

●嶺八郎氏の轉地　東拓秘書役長の氏は病氣療養の爲め去る十二日別府溫泉に赴く

●杉山中尉の出張　京城憲兵分隊附の同氏は十三日夜行列車にて開城に出張したり

公人私人

△近藤原吉（間島領事官補）十三日退京釜山
△宮澤員也（定州裁判所判事）十三日開城へ
△江原素六（前代議士）十三日釜山に向へり
△和田維四郎（工學博士）十三日退京釜山へ
△白石直治（瓦斯會社重役）十三日退京釜山
△本田幸介（水原勸業模範場長）十三日入京
△笹猪之助（新義州警察署長）十三日上京す

近事片々

▲邦人大臣任用說傳はる果して事實ならは甚だ結構なれども實現するや否は可疑也
▲統監にして之を斷行せらるゝならば保護政治の一進歩なるも此際實行は如何にや
▲先づ是は風說として聞流し置かんか若し事實となりて現るれば勿怪の幸とする耳
▲日本人大臣任用は本紙の屢々論じたる所前統監は能く之を斷行し得ず今度は如何
▲水入らずの大臣會議は隱謀會議の觀有て危險也爲に一二邦人を任用すと傳へらる
▲何れの點より見るも邦人大臣任用は實際緊要ならむ希くは其斷行を見たきもの也
▲京元湖南兩線同時起工の閣議は一昨十三日決定する筈如何に決定せしや聞きたし
▲祖國の輸入米課稅問題亦弗々起り來る
▲千田陣笠今年も課稅案を提出すと力味居る
▲此課稅位天下何恐論なし之に贊成するものは皆百姓代議士にて國家の經濟不明也
▲輸入米に課稅より直接減租を斷行す方最も國家の經濟によし百姓議員反省せよ
▲豐作にて米價下落却て農民苦むと祖國の減租派は云ふ然り多少其傾向はあらんか
▲農村の衰亡は國家基礎の破壞なりと減租派曉將谷將軍云ふ然り農村繁榮は國の基
▲昨年祖國に於ては減租論盛となる國民一般重き負擔に苦む民力の休養は實際肝要
▲韓國に於ても望むらくは農村繁榮の策を講じたり農業立本國は其基礎を固くせよ
▲鴨や鴨のみ視はずに韓國に行きて虎狩せよと時事新報は銃獵家に警告す甚面黑し
▲京城高利貸某仁川投機師秋田某は官吏某と結托して米穀買占を企つと萬朝報掲ぐ
▲果して萬朝の報道事實ならば甚だ怪からぬ官吏と結托する抔は痛棒を加る價値有
▲駐淸米國公使クレーン氏は赴任の途淸政策を論じたる廉で免官とは聊か酷は！
▲ク氏の言議が日米の國交に尠からぬ物議を惹起し爲に其職を免せられしとは可怪
▲寒風吹き來り溫突炊かざる可らざるも柴薪の料なき爲に慄へ居る韓人頗る多し

●天氣豫報（自十四日午後六時至十五日午後六時）
北西の風晴れ

日刊(月曜及祭日翌日休刊) 明治四十二年十月十五日 京城新報 (金曜日) 第二百卅九號 (三)



▲相談の相談▼

何でも御相談に應じ升

◎問 僕の知人にて原籍は宮城縣人ですが申さば新渡韓者の方です先月妻及子供二人が虎疫に罹り避病舍に收容されて遂に妻は死亡したけれども子供は全癒退院致しました處此男には尙他に三人の子供があるのでつまり九才を頭に乳兒を合せて五人の子持洋服裁縫が本業ですけれども右申す通り妻には死なれて五人の子供には手足に纒はれ中々仕事處でない終日子守に掛り果て居る始末にて今日の食に窮して居る次第僕も見るに忍びず多少は心附て居りますけれども餘裕の無き僕の事ですから滿足なる世話も出來兼て實は本欄係さんのお智恵を拜借する譯です僕は右の子供の一部を岡山孤兒院へ入院させる樣に同院に縋りて遣りたいと思ふのですが貧窮にもせよ父が在る以上は入院は出來ますまいか出來るとすれば其手續やら子供を送り附る途をば御敎示仰ぎ度いです又當地にてお兒さんの無い方に貰ふて戴くことが出來れば(一人でも)是も至極結構ですから當紙の無料廣告にてお係さんから御世話下さる樣に願い度です實に目の當られたものでないから本人に代りて僕より御相談に併せてお願する次第です(本町一丁目梅田勇造)

◎答 御尤もの事と御察し致す、五人とも皆他人に遣ると云ふことは出來ますまい、長男とか長女とかは除いて他人に遣つてもよい子供の年齡をお知らせなさい、然うせねば貰ふ人にしてからが目的が附かない、岡山孤兒院云々は當地にて所分が出來ないと極れば兎に角然もなければ必要があるまいと思ひますから其時に(係)

◎永樂生さん 住所姓名を明記せざれば不可、如何に履歴だけ知れぱとて名も住家も知れない人のことは世間に發表せられんぢやありませんかね

◎エスの字さん 同前なり、何うも餘りに無頓着で困る、

●人蔘見物記(三) 放浪生

廣濶なる地にのび〳〵と建てられたる蔘政廳に行くと直ぐに階上の標本室へと導かれた、椅子に腰を下ろすと共にプンと强ひ香りのするものを給仕は鼻の先に突きつけた、聊か吃驚の氣味にて之を手に取れば乃ち開城名物の人參湯である、昔は此人參湯を飮む爲に娘を女郎に賣たり、女房お身を賣たりしたのである、それを茲では番茶でも飮ませる如く多勢の人にがぶ〳〵飮ませるとは難有い杯と思ひつゝ、一口飮んで見れば些とも甘くない、矢張り藥には甘いものはないわいと獨り合點しつゝ半ばを平げて跡は殘して置いた、其中に上林課長や其他の係員が標本に就て説明を始めた、が一通りの説明ではなんの素人に分り樣はない、恰で金閣寺銀閣寺乃至日光杯で案内者が陳列品の説明をすると同樣で能く判らぬ中に次へ次へと推移る、故に更に要領を得ない、虫害の學理的説明や之が何年根で之が幾年根である杯と云はれても門外漢には中々判らぬ、害虫が廿倍の顯微鏡下に置かれてあつた、之は自身が眼で見ることとなれば能く判つた、それと作業人の奬勵にやる金銀碑は能く判つた、成程之はよい思ひ付きだ、韓人は由來斯る表彰的のものは非常に喜ぶ、奬勵法として最も簡易で且つ効能はキツトある。

標本室の見物は濟んだ、いざ之より製造する所を見せると云ふので、ゾロ〳〵階を降て裏の製造場に行つた、數取りをして居る所、洗滌して居る所、蒸して居る所、流石は日本人の指揮でなされ居る爲に、總ての規律が整然として居る、十年前韓人の所で見たとは雲泥の相違である、見るからに之ならば蔘業の改善が出來るであろうと思はれた、殊に試驗の爲とて本年より始められたる蒸氣で人蔘を蒸すことは如何によさしうに思はれた、釜は矢張り舊式なれども竈の設備は丸で舊式とは異て居る試驗の成蹟にして宜しければ次年は皆之に改良するとの事である、之ならば必ず結果はよからう舊式の薪を澤山に焚てするよりも經費も違うし、且つ成蹟もよくなくてはならぬ、溫室も亦試驗的にスチーム仕掛に出來て居つた、之も無論舊式に萬々優ることは當然である、兎に角參政廳が銳意蔘業の改善に務めて居ることは甚だ多とするに足るのである、構内に尙舊式の溫室もあれば蒸釜もドン〳〵やつて居る、新式を見ては舊式は全く迂遠のものと何人にも思はれる。此見物が濟むと構外の試作場見物の幕となつて、亦もゾロ〳〵と試作場を巡つた、一見是も舊式の栽培とは稍々異つて居る、而して先づ規則正しくなつているのが一番先に目に付いた。

●防疫委員の罹病

▲未だ全く安心ならず 京城居留民團防疫委員高島末吉(三七)は十三日虎列剌に罹り病院に送られたりと原因は多分各所より集まりし書類整理の際指先を嘗めたるに由るべしと報せらるゝも聊か首肯し難し案ずるに該疫の病勢漸く衰へたるにより放心しての不攝生の結果に非ざるなきか昨日鎭滅を報じたる記者は遺憾に堪ず

●旭町の虎剌拉

▲日本人一名の新患者 一時猖獗を極めたる京城の虎疫も殆ど終熄し只僅かに韓人町に少數の患者あるのみなりしに昨日に至り旭町二丁目百三番戸丸本かいなる女同病に罹りたれば附近一帶の大消毒を爲したりと

●金筋拘引せらる

仁川宮町二丁目居住の原籍栃木縣鹽谷郡大宮村山下平次郎(三四)及び月尾島居住の長崎縣東彼杵郡江上村春己事川尻役太郎(三四)と云ふは表面土木請負業の看板を掲げ居れど其實は金筋中の金筋にして今迄啖呵を切り不正の金子を掠せる事數限りなく京城及び龍山仁川等の請負師其他にして彼兩人の毒手に掛らざるものなく人々毛虫の如く將た蛇蝎の如く忌み嫌ひ居たりけるが兩三日前右兩人は詐欺取財の犯名の下に突如仁川署に拘引せられ目下取調中なるがこれを聞き手を拍ちて悦ぶもの多々あるべしと云ふ

●藥代は酒色の料

仁川濱町二丁目漁業本田政吉と云ふは一昨日恐る〳〵其筋に訴出づる樣同家雇人佐々木伊吉と云ふが過般病氣に罹りたれば日々藥代を持たせて小倉病院に通はしめたるに後より聞けば其藥代は一文も支拂せざりしのみならず同人從妹の藥代までも猪呂魔化して酒色の爲め費消せりとの事に警官は潜伏せる船内に出張して右佐々木を押へ説諭の上以後斯かる不心得なきよう戒めたりと

●文之助拍子歸る

一時明を失ひ五ケ月の久敷き福岡大學病院に入院治療中なりし翡翠樓の名物藝妓文之助は眼疾全く癒ね一昨夜歸樓せり尙ほ前月來歸鄕中なりし同樓の十九江拍子も同時に歸樓したりと

●泥醉者説諭さる

南部山林洞三十一統六戸金春根は去る十三日午後十時頃泥醉して亂暴を働き騷擾を極めゐたるを巡廻中の韓巡査厚く説諭を加ねて引取らしむ

●仁川韓妓の檢梅

仁川花町朝鮮敷島の韓妓四十八名に對し一昨日檢梅を行ひたるに洗滌を要するもの四名あり他は異狀なし

●重罪犯人の巣替

仁川監獄分監に收監中なりし貨幣僞造犯人朴京順外三名は昨日京城本監獄に押送したりと

●一昨夜の新町

遊廓の色餓鬼は八十九人にて消費額五百十二圓五十七錢なり

●迷兒

京城南山町三丁目三十七番戸鈴木源之助は女なつ子(五つ)は一昨十四日午後二時卅分頃永樂町二丁目通りを迷ひ居たるを南部署に連行き保護を加ね置きし處前記源之助が出頭して歸宅したりと云ふ

吉凶讀

本町五丁目 三一館判斷

●十月十五日舊九月二日七赤佛滅 戊申ひらく天赦日△一白 盛運たり進みなすこと支障なし依頼を緊くべし大に吉△二黒●●談判訴訟等凡て紛爭事件に付きては愼重に處すべし又詭計防ぐべし△三碧●●不快の日新事早合せの事竪井土木建築の工には吉△四綠●●親密の間に爭論衝突起らん殊に壯者は閨門の禮を戒しむ△五黄●●平穩部等の日なり只親子兄弟等近親の者に對して出損又は心勞あり△六白●●誹謗中傷詭計防ぐべし尙爭論不和を戒しむ△七赤●●萬づ謙愼を要す酒害女色爭論を戒しむ△八白 通利の日萬進みなす事相當の効を遂ぐ職務及業務上に付きて疎虞過怠あるなかれ△九紫●●紛爭不和又は近親の者の身上に付き心配あり旅行轉住命名入門入學等凶

右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し



◀平民文庫▶

▲〇東高等浪人君の奥さんは十三日の夜南大門驛で出刄を振り回して居られた危險なくつて危險なくつてホントに冷〳〵した(同席者)●●●▲度支部財源調査局の〇田され此頃横山の店員其外某々と盛んに浮れですが餘り過ぎると素薬抜きますよ(新町觀生)●●●▲克己……惡くはない否賞すべき事だ然し乍ら如何に缺點多きが人心とは云へ己が己に打克ねばならぬとはチト情なき事ではないか無理かは知らぬが破らねばならぬ己を無くして仕舞ひたいが吾が理想である、歌あり「中々に淸めぬ庭に塵もなし風にまかせる峯の下庵」(赤部)●●▲安達だとか鯱鉾立ちだとか云ふ人達が渡韓して三日か五日巴城館か天眞樓に宿つて統監邸に通つて燒栗の二つか三つ食べて歸東すると直ぐに統監政治は至極理想通りに行はれて居るとか韓國經濟界は順潮に赴きつゝありとか云つて居る名士が大同倶樂部の陣笠で居ながら小生意氣にも程がある、併し又其の話を眞に受ける新聞記者なんてものは愚ではないか迂だナア(野呂間)●●●▲文章は馬鹿が甘い議論は貧乏人が甘い腕力は野蠻人が強い常識の人は水の如く可もなく又不可もないが偖缺く可らざるものこそ拙者の如きものであるへへ(紅)●▲ほんとにどうすればいゝのか知ら行義正しく仕て居れば無愛嬌者と仰しやる愛想よくすれば直にお戯になるほんとに殿御とはどんな心なのである……が孔子樣とやらは「女子と小人は養ひ難し遠ざくれば即ち怨み近づくれば即ち狎る」とか言はれましたがあれは孔子樣が男だからよ若女だつたらば乾度男子と小人はと言はれたと思ひますヲホヽヽ(秋子)●●▲商人は時々他店に客となつて見るべし彼等賣手の傲慢不遜の態度に感情を害し懇懃親切の言葉に愉快を感ずるなど彼が一顰一笑は直に己が感情を支配する者なるを知らば吾家に來る客も亦此感情を有するを思ひて人の振見て吾振を直すことを常に心掛るが肝要なり(エの字)●●●▲風聞子に斯う云ふことを聞いて來た人がある先日本欄に出たきみいゝと云ふ女は正直であるか正直ならば店員に雇ふて試たいと△責任を重んずること澤庵石を重んずるが如くなる風聞子は下の如く答へた△きみいゝきみは正直であると云へばきみには利益だが萬一不正直であつたら雇主に氣の毒を掛け自分の信用にも拘はる△不正直だらうよと云へば責任は無いがきみの信用を損ふことになる△故に曰く、知らんよ(風聞子)

各種洗濯石鹸 専門製造販賣

用途

陸軍、鐵道、船舶、鑛道、鑛山、水道湯屋、散髪、諸工業用

京城旭町二丁目 (電話九七三番)

朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●小僧入用 京城大漢門前 遠藤洋服店

●女中入用 三十才前後の婦人にして裁縫の心得ある人を求む 旭町一 旭町競賣所

●募集 敏腕なる外交員至急入用希望者は直接京城本六滑稽新聞社へ來談あれ

●求職 年四十五確實なる身元保證人あり如何なる事務をも厭はず 姓名在社(四五五)

●少年入用 十七八才少年入用 大和町一丁目 爲春堂醫院

●被雇度 病醫院の醫局員として被雇たし 斯道に經驗あり 氏名在社(四四八)

●職業あり十圓の資本にて一日一圓以上の職業有希望の方は御來談あれ 黄金町三番戸 國松商會

小僧入用 大和町一丁目 藤井出張店

被雇度 年廿一內地に於て小學校訓導奉職せし者會社商店を不問至急被雇たし 氏名在社(四五九)

ケー生君に告ぐ匿名にては取扱不申候 係

●卅七年出の醫學得業士內科小兒科及小外科に經驗あり病院醫院或は公共の醫院へ雇はれたし 氏名在社(四六〇)

物件部

●電話讓渡したし 氏名在社(四四五)

●貸家 南山町二丁目二階建二間溫突外八疊三間井戸附右今月下旬より貸したし家賃回談 氏名在社(五六四)

●邏用銃十號又は十二號至急讓受けたし 龍山老松町 上田病院

●電話 未設(不日かゝる分)讓渡したし 氏名在社(四六二)

●貸家 官吏向二、三、六、八疊兎葺平家一棟湯殿物置附黌門構有家賃三十圓 氏名在社(四六一)

廣告

開業廣告

當會社義豫て營業開始の準備中に有之候處工事も略ぼ落成致し候に付ては愈々來月上旬開業可致候間聊か開業の祝意を表する爲め左の通り實行可仕候に付き瓦斯引用御望の御方は此の際至急御申込み被成下度奉願上候

一、十月十五日迄に保證金を添へ申込まれたるものには無料にて瓦斯管の引込をなす但多大の材料を要するものは此限にあらず

一、十月十五日以後に申込まるゝものに對しては相當の引込料を申受くるものとす

一、十月十五日迄に申込まれたるものに對しては本年中瓦斯代金二割引をなす

日韓瓦斯電氣株式會社

鍾路 電話(京)一五二 龍山 電話(龍)三二七

入院隨意

內外科 小兒病 梅毒淋病

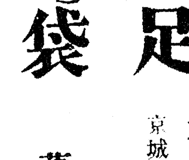
京城壽町三丁目

高井醫院

電話(三一六)

院長 陸軍軍醫正 高井貞治

東京足袋



本店東京

京城大和町一丁目(日の出橋際) 大和屋

藤井出張店

電話二百〇五番

正札付大安賣 厘毛引なし安心して買へ升



京城光化門通

淺田洋服店

店主 大島章藏

(電話四百十二番)

胃腸消化新劑

澱粉消化 ヂヤスタリン

蛋白消化 脂肪 ヂゲスチン

錠劑十日分(三十粒入一瓶)二十錢
散劑一オンス入(一瓶)二圓二十錢
錠劑十日分(三十瓶入一瓶)三十錢
散錠一オンス入(一瓶)二圓四十錢

右は最近內地に於て急激の需用を來たしたる名聲嘖々たる世界無比の理想的絶品にして所謂賣藥には無之候 各地有名なる藥店に於て販賣す

●大韓醫院御用藥

韓國一手賣捌元 京城光化門通 大島專藏

大坂 荒物世帶道具一切

製白絞油和洋蠟燭 和傘岐阜提灯魚釣道具

卸小賣

地方在住の各位には御申越あり次第代金引替證付又は代金引替小包郵便を以て御送付申上候尙弊店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候

荒物世帶道具 各國諸油米穀 銘酒澤龜アサヒサッポロ麥酒 並に買次業

京城本町六丁目

西崎嘉七本店

電話長二一〇電略(ニカ又はニ)

振替貯金口座東京(九四一七番)

●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す弊場は此に留意し好良の食料を給す



京城本町五丁目(電四七番)

販賣元 京城東四軒町(電七五番) 松尾支店

搾取所 松尾牧場

●弊場搾取の牛乳を愛飲せらるゝ御方は…牛乳を飲用し得らるべし

表装一切 襖 製作販賣

原料を精撰し技術審美的にして價格亦頗る廉價なるは弊堂の特色!!

京城明治町二丁目

古香堂主 山本平治

上等石炭各種

並に無煙炭販賣

京城本町二丁目

林田交換所

(電話六十五番)

消毒用デシンフオルマリン外一式

病虫害驅除豫防藥一式

工業用藥品一式

農具種子苗木肥料類

京城本町一丁目(長谷川町筋)

三輪商會

電話三八六番

菊花壇

例年の通り弊樓自慢の黄菊白菊數百株今を盛りと咲き亂れ本日より汎く縦覽に供し候條殿方は申迄もなく嬖閥は特に御婦人樣方御連立ち御來觀被下度候尤も本年は歐米の新種輸入致候て韓國無比之菊花壇確かに御一覽の價値有之者と相信じ申候

御參考

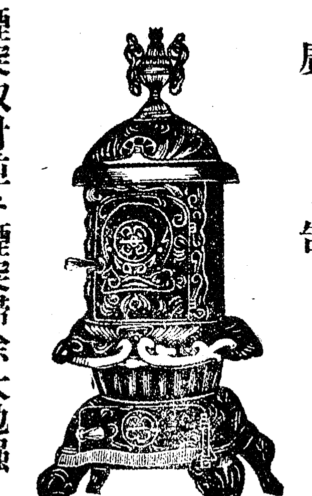
御注文に依り御一人前二十錢の茶菓差出候
御會席は御一人前壹圓五十錢にて山海の珍味を供し候

新町遊廓

皆春樓

廣告

暖爐各種



煙突取付並ニ煙突掃除大勉强

京城本町五丁目角一番戸 電四七一番

馬木勇吉

龍山山下町兵器廠官舍盤入口 電三六四番

馬木支店

京城ホテル

京城南山町三丁目(元日本人倶樂部事)

長電話一二三番 電話四九二番

日韓印刷株式會社

營業科目

活版、石版、銅版 各種印刷 帳簿裝釘、書籍 製本及ビ印刷 諸材料販賣

遍ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候

本社 京城明治町三丁目 電話三二三番

出張所 東京麹町區麹町八丁目十九番地 電話番町二九〇番

特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目

大上商店

和洋酒、(回)精酎、穀物麵類銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候

(電話二五一番)

諸紙 文具類 和洋帳簿

其他雨傘並ニ印入傘御注文ニ應ス右精々安價販賣可仕候多少ニ不拘御用命被仰付被下度候

美濃久紙店

京城南大門二丁目

●土耳古金口莨 直輸入 大販賣●

本社はトルコ最大莨製造會社にして其製品は原料精選其風味は良好無比なれば夙に世界各國に最多の輸出をなし好評を以て迎へられつゝあり卸小賣とも廉價に販賣仕候

京城本町四丁目角 デーエス、パチリス會社出張所

仁川港本町通 仁川代理店

顥原兄弟商會

明治廿年七月創立● 京城代辨店 本町四山口呉服店 電話九番

東京海上運送保險株式會社

資本金一千萬圓● 事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

三一館

焦心單志多年爲斯道難於微義與旨恍然似有得者匪墜推臆斷啜啜茫洋辭愈澗腸素面輕蔑也

易斷觀相教授 京城本町五丁目

館主 土御門派大陰陽師

牛乳

純良 消毒 檢査濟

韓國畜產株式會社

南大門外(電話八八番)

待春日

合

大韓宮内府特定御用

滋養 消化良 牛乳

荒井牧場

電話一〇五六

日本郵船株式會社

仁川出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 電話三九番

郡回漕店

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 十月二十四日正午三時出

●大連、芝罘、牛莊行 高砂丸 十一月十八日正午時出

●大連、大沽、牛莊行 山東丸 十一月九日午前四時出

●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 十一月四日正午時出

●釜山出帆、元山、清津、浦塩行 立神丸 十月二十七日午後出

御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄ハ汽船ニテ御送迎可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 一枚金二錢 一ヶ月前金卅五錢 三ヶ月前金…

●廣告料 五號活字十九字詰一行金…

發行兼編輯人 高木久馬七
印刷人 桜井神一郎
發行所 京城新報社
京城西大門…電話六六二